

第10回アジア地域原子力協力国際会議の開催について（案）

平成10年9月18日
原子力委員会

1. 開催趣旨

- (1) 我が国と地理的・経済的に密接な関係にある近隣アジア諸国は、原子力研究開発利用等の面で多くの共通課題を有しており、これらに取り組むにあたって、近隣アジア諸国が相互に協力することが重要である。
- (2) かかる認識のもと、原子力委員会は、近隣アジア諸国における地域協力の具体化に向けて意見交換・情報交換を行い、地域協力に関する関係各国のコンセンサスを得ることを目的として、平成元年度から近隣アジア諸国の原子力関係者が一堂に会する「アジア地域原子力協力国際会議」を毎年開催している。
- (3) 第10回目を迎える今回の会議においては、これまでの協力活動のレビューを行うとともに、前回会議で提起された地域の原子力協力の新たな展開等について、原子力委員会原子力国際協力専門部会報告書の内容等も踏まえて議論を行う。

2. 開催時期

平成11年3月10日（水）

3. 参加国

オーストラリア、中国、韓国、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ヴィエトナム、日本の9カ国。

（IAEAオブザーバー参加：調整中）

4. 開催場所

日本海運倶楽部

5. 実施体制

- (1) 主催 原子力委員会
- (2) 後援 科学技術庁、外務省、通産省、厚生省、農林水産省
- (3) 協賛 日本原子力研究所、動力炉・核燃料開発事業団、（社）日本原子力産業会議、国際協力事業団
- (4) 事務運営 （社）日本原子力産業会議

6. 使用言語

日英同時通訳

7. 準備委員会

会議の準備委員会を、（社）日本原子力産業会議に設置する。